

2026年5月12日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社ノバックに「ESG/SDGs 推進分析シンジケーション」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、株式会社ノバック（代表取締役社長：大谷 敏博）に対し、「ESG/SDGs 推進分析シンジケーション」を実施いたしました。

「ESG/SDGs 推進分析シンジケーション」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：内川 淳）が作成した独自の分析基準に基づき企業のESG（※1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（※2）達成への貢献を評価し、その趣旨に賛同いただいた金融機関によって組成されるシンジケート・ローンとなります。

今回の株式会社ノバックに対する分析結果は、企業経営において、一定のESG/SDGsの取組みと情報開示を実施されているとの評価となりました。

特に、ESG及びSDGs達成に向けた取組では、以下の内容が評価されました。

E：環境方針にて「全ての事業活動を通して人と自然が調和する環境の創造と環境負荷の低減を図る」ことを明示し、ISO14001認証取得のもと、環境マネジメントシステムを効果的に運用している。環境負荷の把握では、Scope1, 2, 3の温室効果ガス排出量の算定に取り組んでいる。削減に向けた取組みとして、工事現場における環境配慮型の重機の使用や、社有車のガソリン車からハイブリッド車への切替えを推進。2027年12月完成の新本社ビルでは、再生可能エネルギーの利用にも取り組んでいること。

S：製品の安定供給に向けて、BCP策定のほか、「コンプライアンス・リスク委員会」等によるリスク対策の検討、原材料調達先の分散化、消防訓練・AED講習会の開催等の取組みを実施している。また、給与・手当制度の改革、有給・育休・介護休暇制度整備、福利厚生の実施等、業務の質の維持・向上と従業員の多様な働き方へのニーズに応えるための取組みを多面的に行っていること。

G：経営理念で「社員と会社が一体となって、人のために、次世代のために今できることを真剣に考え、社業を通じて社会に貢献する」と宣言し、事業活動を通じて社会課題の解決に積極的に寄与し、より豊かな未来社会の実現に貢献することで社会的責任を果たす姿勢を示してい

る。また、事業活動を行う上で役職員が遵守すべき規範を「行動規範」として開示するなど、コンプライアンスに関する組織としての取り組み姿勢を明確にしていること。

SDGs：決算説明会資料や有価証券報告書等で事業活動とSDGsの関連性を示していること。

株式会社三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話を行い、持続可能な社会および市場の形成に一層貢献を行ってまいります。

<ご参考>

※1 ESGとは

ESGとは環境（Environmental）、社会（Social）、企業統治（Corporate Governance）の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

※2 SDGsとは

Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

法人戦略部 サステナブルソリューション室

TEL：03-4333-6965

このお知らせは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。